

- 記者発表資料 -

「港湾空港技術講演会 in 横浜2017(第10回)」 を開催します

国土交通省関東地方整備局、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所の共催により「港湾空港技術講演会 in 横浜2017(第10回)」を下記のとおり開催します。

本講演会は、港湾・空港分野に関する最新の研究・技術開発の取り組み状況をわかりやすくご紹介することを目的として開催しているものです。

関東地方整備局では、海洋利用の推進や港湾工事の生産性向上を図るため i-Constructionの取り組みを推進しています。今回は「海洋インフラ技術の実用化に向けて」をテーマに、ICT技術や各種遠隔無人化技術の開発等について、ご紹介するほか、来年度に施行される新しい港湾技術基準についても講演します。

また、北海道大学の川村秀憲教授が、「人工知能の最新研究と応用」と題し特別講演を行います。

記

■日時:平成29年12月11日(月) 13:45~16:35 (受付開始13:15)

■会場:横浜情報文化センター 情文ホール

■内容・申込方法:別紙リーフレットのとおり

< 関東地方整備局HP : <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/> >

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

海洋環境・技術課 係長

さの ゆきほ
佐野 幸保
すが たかし
菅 崇

電話 045-211-7420

FAX 045-211-0204

港湾空港技術講演会 in 横浜2017 (第10回)

**参加
無料**

※研究交流会は有料

- 日時: 平成29年12月11日(月) 13:45~16:35
- 会場: 横浜情報文化センター 情文ホール
- 定員: 180名(先着順、定員に達し次第締切らせて頂きます。)

○講演内容 講演会テーマ『海洋インフラ技術の実用化に向けて』

13:15~	受付開始		
13:45~13:55	『開会の挨拶』	関東地方整備局 副局長	高田 昌行
13:55~14:15	『水中音響ビデオカメラの開発 最新情報と今後の展開』	(国)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 所長	栗山 善昭
14:15~14:35	『棧橋上部工点検用ROVの研究開発』	(国)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 新技術研究開発領域 計測・システム研究グループ グループ長	松本 さゆり
14:35~14:55	『海中での近接調査に用いる自律無人機の開発状況について~ホバリング型AUV「ほぼりん」~』	(国)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 海洋利用水中技術系長	田中 敏成
14:55~15:15	『「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の改訂骨子』	国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室長	井上 俊司
15:15~15:25	休憩		
15:25~15:45	『水中施工機械の技術展望と海洋開発』	(国)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 新技術研究開発領域 ロボティクス研究グループ 主任研究官	宮田 正史
15:45~16:30	~特別講演~ 『人工知能の最新研究と応用』	北海道大学大学院情報科学研究科 教授	平林 文嗣
16:30~16:35	『閉会の挨拶』	国土技術政策総合研究所 副所長	川村 秀憲
17:00~18:30	研究交流会(会場:横浜情報文化ホール1階レストラン「ランチャン アヴェニュー」)		三宅 光一

※ 内容は一部変更する場合があります。

◇お申し込み

参加を希望される方は件名を「港湾空港技術講演会in横浜参加希望」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(Tel)、④研究交流会参加の有無 をご記入の上メールにてお申し込み下さい。

- ・申し込み締切: 12月1日(金)
- ・申込先 : pa.ktr-kouenoubo@ml.mlit.go.jp

◇お問い合わせ先

関東地方整備局 海洋環境・技術課 練尾、菅
TEL 045-211-7420

※ お申し込み時にいただいた個人情報は、本講演会以外の目的で利用することはありません。

※ 「研究交流会」は、港湾空港に関する研究についての情報交換をする場です。(参加費:3,000円)

主催: 国土交通省 国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
国土交通省 関東地方整備局



土木学会 CPDプログラム
認定番号 JSCE17-1219(2.7単位)

